

若年性認知症居場所(仕事の場)づくり支援事業

○事業概要

利用者の状況(人数・状況等の推移)

- ・認知症の人利用人数 7人(うち若年性認知症の人2人)
- ・認知症の人延べ人数82人(うち若年性認知症の人44人)
- ・延べ開催日数 36日(うち若年性認知症参加した日数 36日)
- ・認知症の人への工賃(謝金) 合計 25,000円
(若年性認知症の人への工賃(謝金) 合計16,000円)

開催日時・実施場所

畑作業・原材料採取・加工	12回	事業所内
試飲・販売会	9回	事業所内Café
ランチ会	9回	事業所内
若年性認知症当事者会	6回	事業所内

職員体制

畑作業・原材料採取・加工	職員2名	ボランティア
試飲・販売会	職員2名	
ランチ会	職員2名	ボランティア
若年性認知症当事者会	職員2名	ボランティア

仕事の確保方法

- ・近隣の農家に協力をお願いし、作業を手伝う
その対価として野菜を貰い、販売した
- ・敷地内の原材料を採取・乾燥させ、試作品づくりを行った
- ・事業所内のカフェを利用し試飲・販売会を行った

○仕事の内容

- ・畑作業
1時間500円
収穫作業、野菜の洗浄を行い、販売スペースの陳列作業。
- ・のら茶づくり
1時間500円
植物や果樹、木の実などを採取し、洗浄、乾燥、袋詰めを行う
32種の原材料を乾燥し試作品づくりを行う。薬膳中医師の石部氏よりブレンドの組み合わせや効用についてのアドバイスを受けた。
- ・のら茶試飲・販売会
1時間500円
商品説明、試飲・販売の接客

○成果や課題

- 成果
 - ・活動を通じて社会参加の機会が持つことができた
 - ・相談できる場所や仲間がいることの安心感
- 課題
 - ・若年性認知症当事者に情報が届かず、周知方法などの工夫が必要
 - ・若年性認知症支援の第一歩に必要なのは居場所なのか？地域の当事者会も平均年齢が上がってきており、若年性の方とはニーズが違ってきている地域ごとに小さなグループでも情報共有したり、相談できたりする場が必要と感じる。

○若年性認知症の人に向いていると思われる作業内容

それまでの職歴・生活歴、性格、症状はそれぞれであり、「認知症の人に向いている」という括りで作業を挙げるのは難しい
一人の方でも色々な場を必要とする為、あくまでも、それぞれを受け入れる事が可能な場所、職場、作業が準備できる多様な場が地域にある事が望ましいと考える。